

人の動き

世帯数 2,753

人 口 11,091

男 5,433

女 5,658

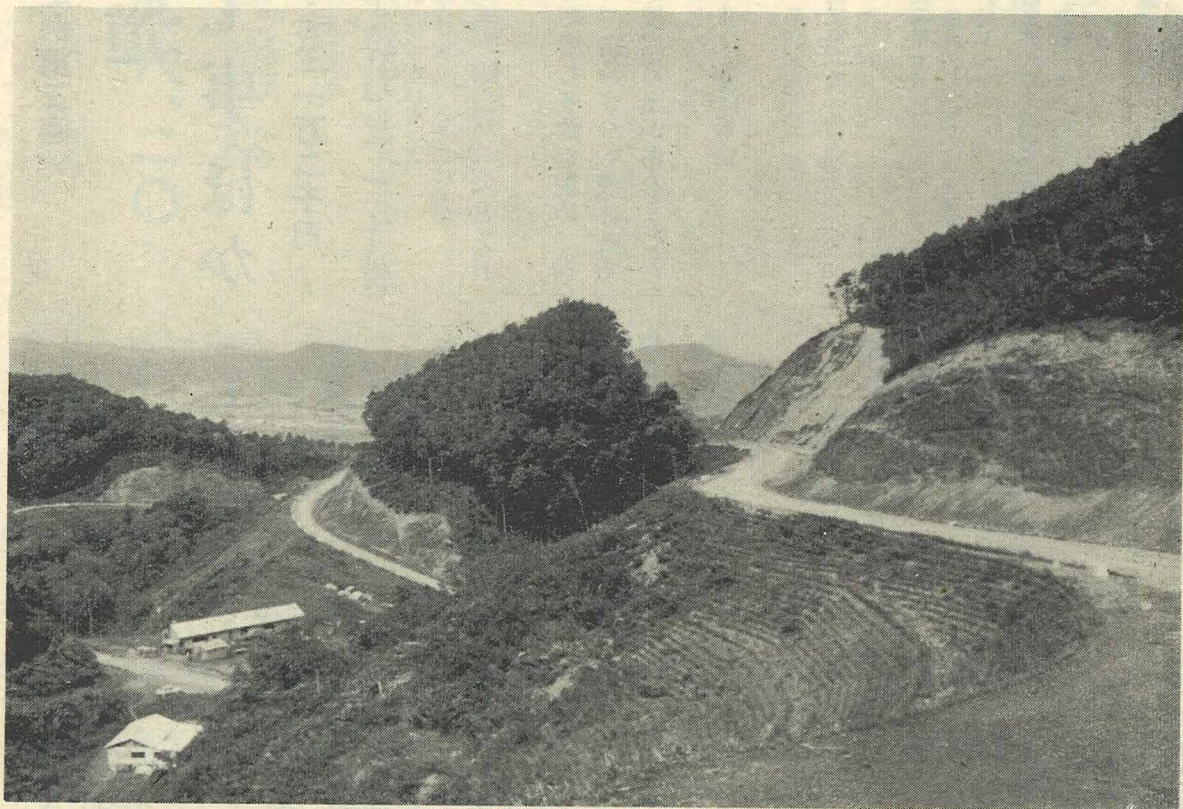
8月31日住民登録人口

発行 佐呂間町役場

44.10.5発行

No. 145号

印刷 佐呂間印刷



(一大景観の開発道路)

産業開発道路

数年前から進行中の、若佐～端野線(産業開発道路)が漸く
 成完され十月末開通の見通し
 です。これで北見へ出るのに
 時間的に大巾に短縮されます。

十月末開通予定



10月1日→

共同募金

10

町議会より (定例第三回)

若佐簡易水道

新設工事ほか

二千七三二万二千円

追加補正予算など 二十件

任期満了に伴う定例第三回最終町議会が、九月五日開かれました。

この議会は最終議会とあり傍聴席も多数を埋め、提出議件も二十余件ありました。議員さんも最終とあって発言も活潑で、いろいろ提案審議がありました。が、午後五時一五分閉会しました。

- 議案第一号 昭和四十四年度佐呂間町一般会計補正予算(第七号)
- 議案第二号 昭和四十四年度佐呂間町有林特別会計補正予算(第一号)
- 議案第三号 昭和四十四年度佐呂間町若佐簡易水道特別会計予算
- 議案第四号 昭和四十四年度佐呂間町国民健康保険特別会計補正予算(第二号)
- 議案第五号 佐呂間町奨学資金基金の設置管理及び処分に関する

議案第十号 と畜場使用料及びと殺解体手数料条例の一部を改正する条例制定について

議案第十一号 損害賠償額の決定について

報告第一号 専決処分について(昭和四十四年度佐呂間町一般会計補正予算第四号)

報告第二号 専決処分について(昭和四十四年度佐呂間町一般会計補正予算第五号)

報告第三号 専決処分について(昭和四十四年度佐呂間町一般会計補正予算第六号)

報告第四号 失業対策事業について(社会文教常任委員会報告)

報告第五号 社会文教施設調査について(社会文教常任委員会)

報告第六号 道路橋梁調査及び水道事業の長期計画について(工営常任委員会)

報告第七号 町有牧野調査について(産業常任委員会)

報告第八号 専決処分について(併用林道の認定について) 富武士一道路路

報告第九号 専決処分について(併用林道認定について(知来右岸道路))

五年ねんきん

高令者任意加入

事務をはじめます

国民年金

国民年金被保険者の適用事務のうち、高令者任意加入再開(五年々金)については国民年金法を改正する法律案が審議終了となりましたが、これについては次期国会で再び上程され成立することは必至でありますので、その場合、円滑な事務処理ができるように、あらかじめ事務処理を進めることにしておりますので、現行の法令等の規定も考えながら、次のとおり仕事をすすめて行きたいと思っております。

①対象者のはあく

(1)対象者(明治三十九年四月二日から明治四十四年四月一

日まで)に生れたもの)は住民基本台帳等の公簿によつてはあくする。

(2)加入の勧奨は、部落の戸別訪問等によって行なう。②加入資格取得申出の際の留意事項

(1)今年中に資格取得申出のあった場合は、特にこの措置は、予約受付の形式で、あらかじめ準備をおしすめませんが、効力は法改正後に生じることになりますので御承知下さい。

◎一ヶ月保険料 七五〇円 ◎免除規定が適用されない ◎年金給付額は月二五〇〇円(年額三万円)

◎通算措置は一般の被保険者と異なった取扱いとなる

(1)保険料の納付方法 保険料は法改正をまつて納付して下さい。

(2)資格取得年月日は、昭和四五年一月一日までに受付したものについては昭和四五年一月一日とし、それ以降については、申出がなされた日を資格取得年月日とします



町議会速報 (臨時第三回)

山内弥太郎氏

議長に選任される

副議長 杉谷 保氏

議長投票結果

山内弥太郎(無) 十五票
峯崎 辰蔵(社) 五票
石村 善治(共) 二票

副議長

杉谷 保(無) 十五票
久米田鶴夫(社) 五票
石村 善治(共) 二票

総務財政委員会

委員長 伊藤 太郎

社会文教委員会

委員長 山内 春芳
副 中 原 景勇
室 井 四郎
斉 藤 公男
杉 谷 保

産業委員会

委員長 峯崎 辰蔵
副 片 平 俊男
川 又 利夫
深 川 進
船 木 長蔵
山内弥太郎

工営委員会

委員長 大沢佐太郎
副 高 橋 政造
佐 高 治作
佐 藤 正
西 喜作

監査委員会

委員 西 喜作

教育委員再任

相田 政之

町議会選挙は九月二十日無事終了しました。
今回の選挙は新七名を含めて二十六名の立候補があり、告示から一週間の運動期間は、各部落で激しい舌合戦が展開され、住民の関心も完全に選挙戦にむけられました。
その結果 投票率も九六、二〇%と、前回を一%以上も上廻るよい成績でした。
各投票区の投票率と得票数は次のとおりです。

町議会議員選挙

投票率 九六、二〇%

部落別投票率

1 第十三投票区(富丘) 一〇〇、〇〇%
2 十七 (啓生) 一〇〇、〇〇%
3 十八 (栄、大成) 九五、七三

4 第八投票区(富武士) 九七、八一%

5 十九 (共立) 九七、三五
6 十六 (栃木) 九六、九九
7 七 (富浜) 九六、七三
8 十五 (中國、川西、若佐) 九六、五四
9 二 (知来) 九六、五〇
10 九 (若里浜) 九六、四八
11 四 (浜さろま) 九六、三九
12 三 (仁倉) 九六、〇七
13 五 (峴岩) 九六、〇五
14 一 (佐呂間) 九五、七三

候補者得票数

15 第十投票区(若里) 九五、三二
16 十一 (北) 九四、九五
17 十二 (朝日) 九三、七五
18 六 (浪速) 九三、四八
19 十四 (武士) 九二、四九
平均 九六、二〇%

1 久米田鶴夫(社元) 三四三票
2 石村 善治(共前) 三二六票
3 佐高 治作(無元) 三〇二票
4 船木 長蔵(無前) 二九八票
5 杉谷 保(無) 二九七票
6 山内 春芳(無) 二九五、七四
7 西田 要造(無) 二八五票
8 惣田 隆次(無) 二八一票
9 片平 俊男(前) 二七一票
10 室井 四郎(社前) 二六七票
11 大沢佐太郎(無前) 二六六票
12 川又 利夫(無) 二六五票
13 中原 景勇(無) 二五九票
14 峯崎 辰蔵(社前) 二五五票
15 山内弥太郎(無前) 二四七、六五
16 西 喜作(無) 二四六票
17 佐藤 正(社前) 二四〇票
18 湯本 英夫(無元) 二三五票
19 高橋 政造(無前) 二二八票
20 斉藤 公男(無) 二二六票
21 伊藤 太郎(無前) 二一八票
22 深川 進(共新) 二〇八票
次点橋本 了(無前) 二〇一
山元 邦良(無) 一九三
門崎 友一(無) 一八三
福田 幸教(無) 一八二

親が先ず 手本を示そう

正しい横断

交通安全町民総ぐるみ運動

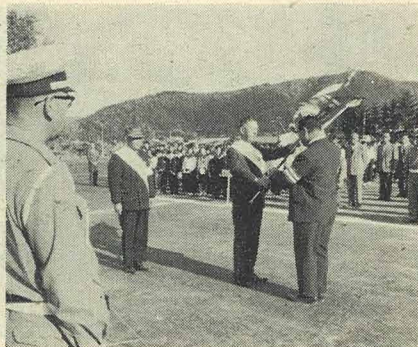
かけて安心 転ばぬ先の杖

一日一円で

「交通災害共済」

に加入しよう

交通安全旬間



網走支庁より交通安全確認リレーの確認旗を受ける助役

六日、七日の二日間各地区の安全協会が主体となって車輛編成によるパレードを行なう。

2、交通指導員による街頭指導 全町三十名(うち婦人二名)の指導員が朝、昼、夕の交通ラッシュの時間帯に出動する。

3 広報宣伝活動

イ、立看板の掲示(佐呂間、若佐、浜佐呂間、栄の四ヶ所)

ロ、黄色い羽根の交付ハ、チラシの全戸配付(一日一目標を刷込んだもの)

ニ、児童生徒の標語、ポ

横断歩道ができました

歩行者の交通安全を図るため、町交通安全対策本部では交通量の多い市街地の「横断歩道」の設置を北見方面公安委員会や網走土木

現業所に陳情していましたが、このほど次の三カ所に新設されました。

◎佐呂間市街

ラツキーパチンコ前
駅前、五十嵐商店前

—町民あげて 事故絶滅へ—

スターの応募と優秀作品の発表掲示

ホ、町広報車による町内一周PR

ヘ、町広報紙による啓発

4、交通安全協会、婦人会等による街頭指導

5、保育所、小中学校における生徒会及び補導職員による街頭指導

なお各部落の秋祭りもこの期間中に催されるところが多いので、みこし、山車、露店商がで、人や車が混雑するときは地域で予想される場合は地域の交通指導員と相談して街頭指導をしてもらう様お互に交通事故防止に協力して下さい

◎若佐市街

若佐農協前

この横断歩道のほか既設分では天光堂前、堀口商店前、若佐小前、栄農協支所前、浜佐呂間駅前、浜佐呂間きばらし前と九カ所になりました。横断歩道は「右見て左見て、手を上げて正しく」渡りましょう。



商工婦人部結成 縁の下の力もちから 第一線へ進出

で設立総会を開いて、規約の審議、役員の選出を行ないましたが、会員八七名をようしこれからの活動が期待されます。

会員八七名

当町商工会婦人部の結成は数年来の懸案でしたが、昨年、青年部を結成して着々その成果をあげつゝあり、更に強力な活動が望まれています。

現在の目まぐるしく変る中小企業の経営には、若い中堅層が新しい感覚と経営方針をひっさげて当

らなければならず、就中、婦人層の示る位置、役割も大きなものがあります。その意味においても、従来とかく縁の下の力もちの存在だった婦人部の結成に期待がよせられていきます

管内では既に数町村が婦人部の結成をみており、未結成町村においても準備委員会等設けて漸く設立の気運が高まりつゝあります。当町では去る九月二日、公民館

役員
婦人部長

副

幹事

会計幹事
監事

山内 和子(佐呂間)
菊地 愛子(〃)
齊藤文子(浜さろま)
垂水 花江(栄)
三島 茂子(若佐)
梶谷 泰恵
岸田こゆき
松本アイ子
湯本 利子
長屋 康子
吉村 梅子
片平ク子
谷口 ふさ
草野 光子
堀口 幸子
杉野 美子
工藤富久子
伊藤 ゆき
今井美代子
香川 寿恵
船木おる
為広カズ子

栄大成

生田原(上佐呂間)留辺藁線

五〇三八米舗装になる

町内舗装延長二二・〇九軒に



も漸く終り、先月から舗装工事にかかっておりましたが、この程(五日頃)完成見込みです。これで遠軽方面は町界まで三軒を残すのみとなりあとひととき、着々と整備されつゝあります。

現在までの町内の舗装延長は、国道が二キロメートル、道々が一五・〇五キロメートル、開発道が五・三八キロメートルとなり、総延長二二・〇九キロメートルにもなりました。

ここ二、三年のうちに町内の道路網も大巾に改良され快適な走行が出来るようになります。

去年から工事中の、栄、大成浅田宅までの、いわゆる生田原(上佐呂間)留辺藁線の積雪寒冷工事

町営プール利用者

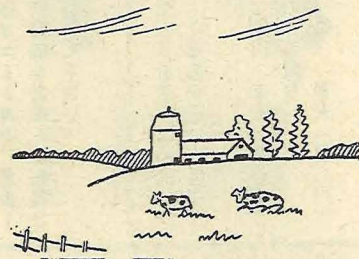
約二万人

なりました。

七月初旬から開場しておりましてプールが、九月十日で佐呂間も若佐も閉鎖されました。今年は去年よりもいくぶん天候に恵まれませんでした。それでも佐呂間地区は延二・〇二五、若佐地区は延二・七九七人と大巾な利用数となりました。

期間中は、水泳講習会、競技会等多くさん行事があり、今年泳げるようになった生徒もだいぶおりました。来年は更にみんなが泳げるようになりましょう。

普及所だより



水稲

春の苗いたみにより、補植され方が多いこと、思います。

種子用に刈取る圃場は混種のないものを選んで下さい。又近所に良い圃場があれば刈取る前に話合うようにしておきましょう。

刈取りは強霜に合わせる前に早目に終らせるようにして下さい。

機械乾燥については、必ず基準通りの方法を取り種子用扱は天然乾燥を充分にして下さい。

てん菜

今年例年になく褐斑病が多発生していますが、トップによる感染が明年度多くなるので処理に当っては注意して下さい。

明年度の移植栽培用床土を準備し適期に農作業が出来るようにして下さい。

馬鈴薯

疫病の発生が多く塊茎に菌が付着しております。貯蔵用馬鈴薯は

乾燥を充分に行い硝石灰を粉化する等充分な処置をして下さい。

ハッカ

植付に当っては新品種の「あやなみ」は種根の芽立が少いので一〇アール当一五〇Kgを播種し、根腐病、黒腐病の防除に必ずPCNB剤を粉衣して、適期に植付して下さい。

「ほうよう」を廢耕する方は秋の内に耕うん機で耕しておくとも年の残芽がなく作業がしやすくなります。

この方法は共立の一部の方が実施して好評です。

畜産

十月ともなると、放牧地の草生も生育が悪くなります。六月の三分の一位しか生育しませんから、一日中放牧しても満腹にならないことが多いので、放牧だけでは栄養が不足し、乳量が少なくなったり、牛がやせたりしますから、牧草サイレージか、青刈デントコーン、ビートの経葉、乾牧草などを補給してやらなければなりません濃厚飼料も増飼して栄養確保にとめる必要があります。

生のビート茎葉は栄養もあり、牛も喜んで食べるので産乳効果も高いのですが、多量に給与し過ると、害がありますから、成牛で一日一頭当、二〇〜三〇Kg以上給与しないことです。

デントコーンをサイローに詰込んで

で余ったのを、乾燥して乾デントコーンにするのは、栄養が少なくなるだけでなく、凍結したものを牛に給与するのは、消化もよくないので、スタックサイレージか、バキユームサイレージにして給与するのがよい。

放牧地の管理

放牧地も十月になると、翌春成長のための養分を蓄積する時期ですから、過放牧は翌年の生育を悪くします。放牧は出来るだけ早く切上げた方がよい、尚排糞を散らし、石灰を散布し、尿散布をして翌春の生育をよくするようにつとめるのがよい。

農業改良普及所の機構改革について

農業改良普及所は八月一日で、湧別、上湧別、佐呂間が合併し、広域普及所となりました。

本所は湧別町で、佐呂間は駐在所となりました。普及員の人員や、事務所は従来と同じです。

但し月に何日か、お互に出向いて普及活動することになっていきます。農家の皆さんには、今までと同様に活動しますのでよろしくねがいます。

尚八月一日付で次のとおり人事移動がありましたのでよろしく。

佐呂間駐在所主任(丸瀬布より)

相沢隆治

勤務(湧別より)

畜産担当 有瀬光晴

現在の目まぐるしい労働環境の中で「仿いている青少年はいま何を考えているのだろうか」これはいま大きくとり上げられている青少年対策推進の上からもたいじな点で、その悩み、苦しみをみんな聞いてそれぞれの立場から、助言指導をして、仿く青少年に夢と



希望をもたせるようにしたいと思っています。

町教育委員会では、これ等青少年対策の一環として、第一回勤労青少年のつどいと、北海道高校定通教育研究協会主催の第十三回通信制、定時制生活体験発表会を九月七日町公民館で開きました。

午前中は、遠軽地区勤労青少年研修講座として「デンマークの青少年」(講師福田幸輝)「青少年の心理」(網走教育局池田指導主事)のお話、午後から通信制、定時制生徒の体験発表、夕六時半からは「雇用者研修講座」として、「仿く青少年はいま何を考えているか」などの講演が商店主などを対象に開かれました。

生活体験発表には、北見、網走、紋別、美幌、置戸、訓子府、留辺、滝の上、地元と十一校から十九人の参加があり、日頃仿きなが

苦しいか

楽しいか

ら学び、生活するといふことがいかに苦しいか、また、それをのりこえて彼岸に達しようとするときの希望をそれぞれの立場から発表し会場を埋めた人達に深い感銘を与えました。

審査の結果は、みんな優良で紙一重の差でしたが、次のかたが入賞と決まりました。

①可能性の限界探究こそ

森 思見(美幌)

②農業後継者の意地

戸田 精一(置戸)

生活体験発表北見地区大会

毎月第三日曜日は

「青少年の日」です

仲間づくりグループ活動をしよう

毎月才三日曜日は、北海道が提唱し町も全体的に協賛している「青少年の日」です。次代を背負い、開道百一年の北海道のホープとなり、町の発展の原動力となる青少年を逞ましく伸ばし、育てよう

1、各職場に勤めている勤労青少年はこの日は完全に勤務から解放されるようにしましょう。

2、青少年の仲間づくり、グループ活動に理解と協力をしてやって下さい。

3 青少年もこの日の意義を認識して漫然と暮らすことなく、組織や団体活動を通して、体育、野外リクリエーション、グループ学習活動等を計画して修養と鍛練に努めて下さい。

③充実した一日を送るために

今部あや子(佐呂間)

④父と私

柴田 幸夫(留辺蘂)

⑤この脚のある限り

県 幸夫(置戸)

これらの行事に積極的に参加して下さい。

「でっかいなー」

町内の三年生庁舎見学

社会の勉強で



町内小学校三年生が社会勉強の一つとして役場庁舎を見学しました。

始めてみる建物、中へ入って係のひとからいろいろ説明を受けましたが、役場の人、机の上の器具、書類など一つ一つにもの珍しいようでした。

これで役場の中の状態が少しでも解ってきたのでないでしょうかまた来年もきて下さい。

4、この日は各職場の雇主との話し合いや、或は家庭内で親子兄弟姉妹が和やかに語り合いましょう。

5 ボランティア活動を見つけて地域社会、郷土づくりに奉仕しましょう。

“出品しよう 力作を”

秋の文化祭を開きます



第三回

十月十九日

勤労青少年研修講座

学園にて

十月二十五、六日

管内農業学園体育大会

十一月一日

第二回芸能祭

舞踊、民謡、コーラス、琴

曲、軽音楽、詩吟

十一月二日、四日

書道、俳句、絵画 華道

短歌、写真

十月十日

体育の日

歩け歩け運動

午前六時、公民館前集合

道民スポーツ

網走大会終る

金メダル 伊丹弘子(60米)(仁 倉)

銀メダル 渡辺凱弥(円盤)(浜さるま)

七月から延三ヶ月に亘って行なわれていました。道民スポーツ網走大会も、先月十四日の陸上競技を最終に全日程を終りました。当町からも各種目に選手が参加し

ましたが、陸上競技を除いてはあまり期待の成績は上りませんでした。が選手のみなさんは一生懸命健闘されました。

おしらせ

防火管理者

資格取得講習会

とき 十月二十日、二十一日

午前九時

ところ 遠軽町消防本部会議室

申込 受講されるかたは十八日まで役場民生課まで申出て下さい。

テキスト 防火管理者必携

三〇〇円

早見法令集二〇〇円



毎週金曜日に放送している「開化探偵帳」は、好評のうちに十月十日終了しますが、そのあと番組

として、大仏次郎原作の「鞍馬天狗」(金・後8・00、9・00総合)が、はじめての一時間カラー連続ドラマとして十月十七日から登場します。

「鞍馬天狗」は、大仏次郎氏が大正十三年から四十年間にわたって書き続けたシリーズを、原作の特色を生かして、テレビドラマ化するものです。

時代は文久三年、風雲急をたげる幕末で、舞台は主として京都と江戸。

一刀流の達人、鞍馬天狗が新時代への理想にもえ、自分の利害得失などには目もくれずに行動するさわやか



危険物取得主任者 講習会

とき 十月二十七、八日

午前九時

ところ 遠軽消防本部会議室

申込 十月二十五日まで役場民生課まで

テキスト

住宅改良資金

第二回受付

十月十五日まで

危険物解説 二〇〇円

消防法令 二〇〇円

問題集 一五〇円

さが反響をよぶものとみられます。登場人物は、角兵衛獅子あがりの杉作少年や、もと盗賊の黒姫の吉兵衛など。これらとともに天狗が桂小五郎や尊王派の志士を助けて大活躍する物語。

おもな出演者は、主役の鞍馬天狗に八竜馬がゆくVの武市半平太で好評だった高橋英樹、黒姫の吉兵衛には露口茂、杉作には子役の板東八十助、天狗をねらう隼の長次に古今亭志ん長、その妻お艶に浜木綿子がふんします。

異色なのは天狗と対決する新選組局長に八竜馬がゆくVで同じ役を演じた瑤川哲郎が再度登場していること。天狗とともに討幕に活躍する長州の桂小五郎には杉浦直樹という豪華なメンバーです。

くらしのヒント



被服整理に便利な設備

洗たくやアイロンがけが能率的にしかも疲れが少なくてすむ高さを知っておきましょう。

まず理想的なたらいの高さ、現在のよう電氣せんたく機が普及されていても手で洗うたらいはほしいものです。

大きさとしては直径50センチ深さ18センチ前後のものが良いです、たらいの高さは洗たくする人の腰骨よりも7〜10センチ低いくらい(84センチ位)がらくに仕事ができます。

又アイロンは座ってかけるよりも立ってかける方が平均に力がかかってつかれませんか。

高さは掛ける人の腰骨の高さより5〜10センチ低いくらいが良いです(87センチ位) コンセントは右手より取るとかけやすくなります。

寄 附

社会福祉協議会へ

五千円也(病氣全快祝として)

啓 生 武田 幸久殿

壹万円也(亡母イチ)香典返しを

廃して 武士 高橋 光利殿

五千円也(病氣全快祝として)

東 片平喜一郎殿

七千円也(亡父宇兵衛)香典返しを廃して 武士 野畑 憲三殿

参千円也(妻静江 病氣全快祝として) 富 丘 渡部 正殿

五千円也(亡父三太郎)香典返しを廃して 北 水上 弘殿

佐呂間老人クラブへ

壹万円也(亡父喜一郎)香典返しを廃して 川西 滝 秀雄殿

参千円也(亡父三太郎)

北 水上 弘殿

若佐老人クラブへ

五千円也(亡母イチ)

武士 高橋 光利殿

武士老人クラブへ

五千円也(亡母イチ)

武士 高橋 光利殿

浜さるま公民館へ

壹万円也(次男)香典返しを廃して 浜さるま 野川 貞夫殿

共立老人クラブへ

参千円也 病氣全快祝として

共 立 十亀 トメ殿

五千円也(亡母クマキ)香典返しを廃して 共立 佐藤利三郎殿



水灯吟社九月例題(秋の風、木の実、南瓜)

神域の千草に生れし秋の声
交媒の南瓜色よき露の朝
新南瓜唄みて女子の笑に満ち

秋声や風泣き渡る草の上

木の実数多落して過し昨夜の風
大南瓜割るに鉦振る妻の顔

君恋えば九月のこだま返り来ぬ
夜が冷えて星はまたゝゝ為に出る
母のような月が佐呂間湖の上に出る

稀に見た雁鳴き渡る秋の空
春植のオンコ赤々実の熟す
秋晴れに町議候補の競い合う

木の実つけし野良着の妻をねぎらいぬ
町議選攻防のセトカー秋を截る
南瓜鍋提げて稲刈り衆を呼ぶ

支笏湖の勝景みじんも巧まねば岸辺にて我が虚構くする
裁く身がさばかれ居るかもゆるゆると夕光えぎり釣舟移りゆく
流木に頬触れしとき逝きし我が父の記憶が身をつらぬけり

書道教室

会員募集

第二回北海道危険物

取扱主任者試験実施

一、試験の種類

甲種及び乙種第四類の危険物取扱主任者試験

一、試験の日時

昭和四十四年十一月三十日
午前十時三〇分から

一、試験地 網走市、遠軽町

一、受験願書の受付
十月六日〜十月十五日まで

一、願書提出先 網走支庁総務課
願書は役場民生課社会係にあり
ます。その他詳しいことは係に
お尋ね下さい。

対象 高校生及び一般
内容 実用書から法帳まで
開講日 毎週木曜午後六時から
(第一回一〇月二十三日)
会 費 高校生 月一五〇円
一般 月三〇〇円
会 場 佐呂間公民館和室
講 師 三浦英翠(浜佐呂間小中
学校長)(月展、道展は
か入選者)
申 込 佐呂間公民館T三四九〇
佐呂間文化連盟
書道研究会